

一般質問



使用済み紙おむつの 持ち帰りはやめるべき！



日本共産党湖南市議員団 ● 松井 けい子 議員

- 問** 使用済み紙おむつの持ち帰りの実態は。
- 答** 公立4園では保護者が持ち帰り、民間保育園も3園は持ち帰りですが、10園は園で処分されています。
- 問** これから湿度・気温も高くなり、感染症や衛生面で危険では。
- 答** 公立園が遅れていると認識しているの、園で処分する段取りを考えます。
- 問** 公立園保育士の処遇改善の補助金活用は。
- 答** 本市では職員給与を人事院勧告に基づき決定し、「他の職員との均衡が図れないこと」や「対象が保育現場に限られ、本庁で働く保育士は対象外」であり、支給は考えていないため申請をしていません。
- 問** コロナ禍で業務量の増えた保育士に他市では月額9千円の補助金を特殊勤務手当とし

- て支給しているが、本市ではどうか。
- 答** 恒久的な補助金ではなく手当としての活用も考えていません。
- 生活困窮者支援**
- 問** 周知の方法として生活保護のしおりの設置やホームページにも掲載されていますが、制度を知らず命を落とす方もおられます。だれもが目にすることができるポスター掲示はどうか。
- 答** 関係機関と連携を強化し、支援が必要とされる方が漏れることがないように努めます。
- その他の質問**
- 「だれもが利用しやすい公共施設にするために」使用料、施設の貸出予約、診療所の予約、トイレの洋式化等について質問しました。



東京都中野区のポスター



放課後等デイサービス LGBTについて



無会派 ● 赤祖父 裕美 議員

- 放課後等デイサービス**
- 問** 「第3次湖南市障がい者の支援に関する基本計画」策定の思いは。
- 答** 一人ひとりが尊重され、互いに支え合いともに生きられるまちをめざします。
- 問** 療育手帳所有者数の推移は。
- 答** 平成30年度末から令和3年度末にかけて、92名が増加しています。
- 問** 受給者証の給付決定期間が5日スタートとなっているが、子ども一人ひとりに寄り添った支援が必要ではないか。
- 答** 令和4年6月までに新たに2つの事業所が指定され、定員総数が倍増します。可能な範囲で希望に沿えるよう努めていきます。
- 問** セルフプランは保護者の負担です。計画相談員不足の原因は。
- 答** 障がい福祉分野の人材不足が原因です。
- 問** 新しい事業所では、まだ受け入れ定員に達していません。必要な方への周知は。
- 答** 教育委員会と相談をしながら進めていきます。
- LGBT・ジェンダー平等について**
- 問** 多様な性のあり方について、学校・地域での取り組みは。
- 答** 今年度も外部講師を招き研修する機会を予定しています。
- 問** ジェンダーにも考慮して、中学校の制服が新しくなっていくます。可視化することで市民の人権意識改革が重要と考えますが。
- 答** 今後、人権まちづくり懇談会などの場で啓発していきたいと思っています。
- 問** 新しい施設から「誰でもトイレ」の導入を。
- 答** 検討していきます。